

#### (4) ②様式第4号-2 (報告書)

※文字のフォント、大きさは Meiryo UI / 12ポイント以上とし、行間・文字間、上下左右の余白は変更しないでください。

※写真は、進行プログラムに沿って適宜、右ページに簡単な説明文を添えて貼り付けてください。

※必ず A3 片面 1 枚におさまるように作成してください。ファイルサイズは 5 MB 以下としてください。

NITS・教職大学院等	実施機関名・連携機関名 弘前大学教職大学院、青森県教育委員会
コラボ研修プログラム	テーマ：学校現場を支える指導主事の力量向上のための研修会
支援事業報告書	研修等名：令和3年度【NITS・弘前大学教職大学院コラボ研修】指導主事研修会 開催日時：令和3年7月10日 9時50分～16時 開催場所：（弘前会場）弘前大学教育学部（青森県弘前市文京町1番地） （八戸会場）八戸ユートリー（青森県八戸市一番町1丁目9-22） 参加人数（総数）と参加者の属性： （40人）弘前会場29人、八戸会場11人（2会場をオンラインで結ぶ）

#### 内容：

構成内容は次の通りである。

- ① <講義・ワークショップ> 「学校現場にどう助言し関わるか」 教職大学院教授
- ② <若手指導主事座談会> 「なりたての悩み、どう乗り越える？」 指導主事3名
- ③ <講義> 「指導主事としての力量を高めるプロセス」 指導主事経験中学校長
- ④ <講義> 「学校現場とともに歩む指導主事として」 指導主事経験大学教授
- ⑤ <協議> 「今抱えている課題」・「指導主事として大切にしたいこと」



【企画の背景と構成】なりたての指導主事は、「学校現場から教育行政へ」

というキャリアの転換期にあたり、これまで一員であった学校に対して指導・助言しなければならない状況に直面するとともに、指導主事としての経験がその後の教員キャリアにどう活きるのかも自明でない状況に置かれている。そこで、①の講義で、「授業の見取りと助言」をテーマとして「学校現場への助言にあたってどのような視点に立てばよいのか」という疑問や不安に応えるとともに、②の経験 1～3 年目の指導主事による座談会で、指導主事になりたての次期に生じる課題を共有した。そして、午後の時間帯は、③④で 2 名の指導主事経験者から指導主事前後のキャリア・ストーリーを聞くことで、自らのキャリアを俯瞰してとらえ、現在の業務が持つ意味を改めて考えるようにした。⑤の協議では、①～④を踏まえ、所属を超えた指導主事同士での協議をととして、指導主事としての自らの取組を省察するようにした。

#### 成果：

##### 【事後アンケートの結果と自由記述】

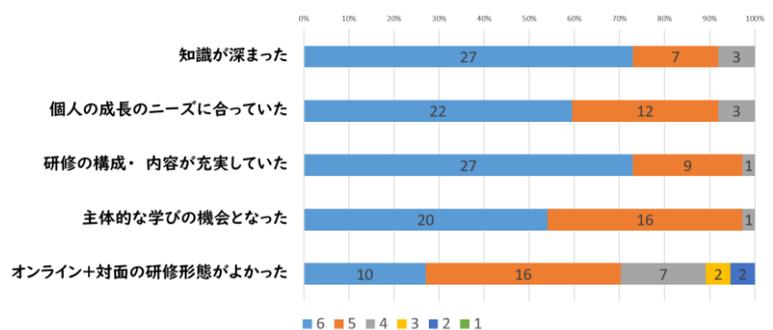
- 講師の先生のお話をうかがったり意見や悩みを共有する中で、今自分が何をすべきか明確になった。
- 具体的な指導助言の視点や観点、知識、情報をいただいたことで、頭の整理と気持ちの整理につながる研修会となった。
- 皆さんが同じような悩みを抱えながら業務に邁進していることに少し安心した。
- 他所属の相手だからこそ話せることなど協議の時間が救いになった。
- 全ての講義で共通していたキーワード「子供を主語として考える」をしっかり意識し、現場の先生方に寄り添い、明日からの業務に活かしていきたい。

##### 【事前・事後のアンケートに見る仕事への意識の変化】

事前・事後アンケートにおいて、同一項目で仕事への意識を 6 段階（意欲のみ 10 段階）で問い、結果を分析した。（データは次頁下に掲載）。本講座は、所属先の違いを超えて指導主事というキャリアに見通しと満足感をもたせ、不安を低減し、仕事への充実感を増す効果があることが検証された。

##### アイデアや工夫したこと： ● 週休日実施で希望参加である。

- 指導主事は、所属によって業務は異なるが、グループ協議はあえて異業務混合で実施した。
- 事前・事後の同一設問で指導主事の「仕事への意識」の変化を分析し、講座の評価を検証した。



<写真・図など>

指導主事経験中学校長による講義。自身 →  
のなりたての頃の失敗談や失敗から得た教  
訓を熱く語る。

↓ 講義に共感しながら熱心に耳を傾ける指  
導主事の先生方。



学校現場への助言にあたって、どのような視点に →  
立てばよいのかという疑問や不安に応え、大学の  
教員による「授業の見取りと助言」に関する講義  
・演習。

↓ 和気藹々としたグループ協議の様子

↓ 所属の違う異業務の指導主事による協議。  
「業務は違えども指導主事の根っこは一緒」。  
課題や悩みを共有しながら、協議を通して課  
題解決や指導主事としての使命感・学校を  
支える教育行政の意義を再確認。



↓ 事前・事後アンケート比較による検証

Table1 指導主事研修会を通じた「仕事への意識」の変化に関するt検定の結果

n=34 df=33

	事前		事後		t値
	平均	SD	平均	SD	
私は自分の仕事にどのように取り組んでいけばいいかイメージを持っている	4.16	0.86	4.85	0.77	4.200 ***
私の日常の仕事の大半は、それほど重要なものではない	2.03	1.01	2.15	1.19	0.676
仕事の見通しや計画を立てるのが楽しい	3.85	1.11	4.03	1.01	1.088
今後の自分のキャリアに漠然とした不安を感じる	3.76	1.44	3.29	1.32	2.269 *
指導主事というキャリアに満足している	3.71	1.20	4.32	1.23	3.914 **
仕事に押しつぶされそうな気持になる	3.97	1.44	3.59	1.33	2.059 *
日々の仕事に充実感を覚えている	4.00	1.26	4.41	1.00	2.122 *
早く学校現場に戻りたいと思っている	4.21	1.28	4.18	1.22	0.176
現在の仕事に対する意欲(10段階)	7.65	1.81	7.79	1.66	0.542

\*p < .05    \*\*p < .01    \*\*\*p < .001